

トムソンネット アドバイザ

相澤 吉勝 （あいざわ よしかつ）

1970年、野村電子計算センター（現野村総合研究所）入社
取締役、監査役を経て2002年退社
2002年、現キヤノンITソリューションズ入社、常務取締役を経て2004年退社
2004年、中部大学経営情報学部教授就任、2014年退任
企業在職中は、保険業界を中心とした金融機関の業務システムの設計開発を担当。
中部大学では情報システム論、経営情報システム論などの講座を担当。

担当エリア

損害保険システムと事務

安孫子 正人 （あびこ まさと）

1977年、三井生命（現大樹生命）に入社。
入社以来システム部門に在籍。生保事務システムの再構築および大規模プロジェクト管理を経験。システム部門の後半、企画責任者を務める。
1997年に人事部門へ異動。人事部長として人事制度改革を行う。
2001年浜松支社長として営業現場を、職域統括部門長として法人営業を経験。
2006年常務として総合企画・人事・総務を担当。
2009年代表取締役副社長に就任、2010年退任。
2010年～2014年関連会社三生オンユー（株）代表取締役社長。
2014年～2016年（株）小松ストア取締役副社長。
2016～2017年なごやかケアリンク（株）代表取締役社長。

担当エリア

生命保険システムと事務

五十嵐 信行 （いがらし のぶゆき）

1975年、安田火災（現損保ジャパン）に入社。2010年退職
在職中は、財務部門で有価証券投資に長年携わるほか、システム部門、経理部門、監査部門を経験

財務部門では子会社の投資顧問会社、投資信託委託会社に二度出向しファンドマネージャー、運用に係る事務処理、コンプライアンス、経営管理等を担当
監査部門では監査役付として監査役会の運営、監査役の監査計画の立案、監査役監査の実施、株主総会対応などを支援
日本証券アナリスト協会検定会員

担当エリア

損害保険システムと事務

石井 伸夫 (いしい のぶお)

1975年、大正海上（現三井住友海上）に入社。2012年定年退職
在職中は、ノンマリン商品部門に長年携わる一方、企業職域営業、プロ代理店支援等を担当
算定会制度から自由化、生損保相互乗り入れ、2度の合併・統合等を経験
商品部門（ビジネスサイド）の立場から、各種システム開発に従事
パッケージ商品、キャッシュレス化、ペーパーレス化、マニュアル制作、募集文書作成・チェック業務を通じて、種目横断での商品・規定・システムの標準化・共通化に取り組んだ。
商品企画部長、商品イノベーション担当部長、募集文書管理室長等を歴任
2012年、日本保険仲立人協会に転籍。2017年定年退職
事務局長として、保険業法改正（ブローカーの規制緩和等）の対行政窓口、保険仲立人テキスト制作、資格試験運営等を経験

担当エリア

損保講座・基本コース

損保講座・上級コース

金融監督行政全般

課題解決プログラム

保険募集制度

代理店ビジネス・アドバイス

石垣 隆介 (いしがき りゅうすけ)

1974年、AIU保険会社に入社

システム・財務・経理部門に25年間勤務

2000年にリバティ保険会社に転職

CFO・CIOを歴任

2004年より少額短期保険会社の設立コンサルティング業務を担当

少額短期保険会社の設立プロジェクトのマネジメント

少額短期保険会社の経営サポート

（当局宛の報告書・事業収支計画・経営分析・決算資料等）

組織の設計についてのアドバイス

コンプライアンス対応、規程類・マニュアル類の作成・助言

ビジネス要件の定義書等の作成・助言

2018年家財系少額短期保険会社の設立・代表取締役就任（2021年退任）

担当エリア

損害保険システムと事務

少額短期保険システムと事務

板倉 貴治 （いたくら たかはる）

1972年 石油荷役（株）保険部入社1年在籍、以降、AIU保険会社16年、
A&A（米国保険ブローカー）2年、日動火災（株）7年、HDI-Gerling Industrie
保険会社日本支店15年、スター保険1年3か月を経て42年間の損保業界生活を引退
主に大規模企業リスクにかかる新種保険分野（各種賠償保険、ボンド、D&O保険、
海外プロジェクト）の引受業務を担当するアンダーライティングに従事、大蔵省、金融庁
との認可折衝担当、HDI保険会社の日本における事業免許取得後Gerling保険会社との合併
を経て日本副代表者、外国損害保険協会協議員16年

論文・著作等活動：1989年6月「外者法第3条第4項の法的所在」保険毎日、
1995年4月「施行を直前に控えたPL法の解説とその対応について」中小公庫月報、
「ハンドブック製造物責任（PL）法・ハンドブック製造物責任対策（PLD）」
（共著）株ぎょうせい

2014年11月以降「近未来における再保険業務の展望」保険毎日連載

2015年11月「ルシュリコン・イニシアティブ」インシュアランス損保版

(株)保険研究所 インシュアランス 客員論説委員

インスウォッチ コラムニスト

危機管理システム研究学会 理事

日本通訳協会通訳検定2級、プライバシーマーク審査員補、
個人情報保護士・監査人、保険仲立人（第160021号）
損害保険募集人 ID 3018236515
Captive Insurance Manager ミクロネシア連邦政府公認No.19-01

担当エリア
損保特別講座
保険募集制度
海外の保険業界動向
課題解決プログラム
金融監督行政全般
デジタル革命と保険ビジネス
Pマーク取得支援
再保険へのアドバイス

岩原 秀雄（いわはら ひでお）

1966年 共栄火災に入社。
総合企画(8年) 生損保の業務立案・管理（6年）システムにかかわる戦略立案、
調査、設計、開発、運用(18年) 損保管理部門長(開発、損害調査)（4年）、
関連システム子会社(株)中央コンピュータシステムの常務取締役(3年)
保険関連のシステム関連各社へのISMS認証取得支援コンサルティング、
プライバシーマークの主任審査員として11年間、約350社のプライバシーマーク
審査にあたるなど、システム監査業務の第一人者。

所属団体

特定非営利活動法人 日本システム監査人協会
日本セキュリティ・マネジメント学会

担当エリア
金融監督行政全般
システム監査支援
生命保険システムと事務
Pマーク取得支援
損害保険システムと事務

岩本 堯 （いわもと たかし）

住友海上火災保険に入社、現三井住友海上火災保険を定年退職。

入社以来システム部門に在籍、保険基幹システムの企画・開発・運用部門の中心として活躍。

また、業界活動にも積極的に参加し、損保業界あげて取り組んだ「損保VAN」の立ち上げでは、企画からリリースに至るまで、日本損害保険協会「共同開発準備室」の開発リーダーとして重責を果たす。更に協会および契約者保護機構出向時には、破綻保険会社の更生に活躍。

金融財政事情研究会発刊の「図説 損害保険ビジネス」、「図説 損害保険代理店ビジネスの新潮流」、「図説 生命保険ビジネス」の共同著者。

技術士(電子計算機応用)、情報処理システム監査技術者、保険仲立人(第11202号)、損害保険登録鑑定人(3A-1604-102号)、産業カウンセラー(第03028223)の資格を持つ。

保険システムアナリストとして、特に代理店システムの知見・経験が豊富。

担当エリア

損害保険講座・上級コース

損害保険特別講座

生命保険特別講座

図説・損害保険代理店

図説・損害保険ビジネス

図説・生命保険ビジネス

保険募集制度

システム監査支援

代理店ビジネス・アドバイス

少額短期保険システムと事務

デジタル革命と保険ビジネス

課題解決プログラム

損害保険システムと事務

上田 和雄 （うえだ かずお）

1975～2011あいおいニッセイ同和損害調査株式会社に在席

あいおい損害調査業務の改善及び損害調査システム開発の責任者として、調査活動支援システム（RISA）を開発し全国展開を経て、保険金支払いの適切化に貢献。

あいおいニッセイ同和損害保険・損調システムISIS開発

主に開発に携わったシステムとして、

- ・大東京火災「損調システム」Ph- 2、Ph- 3 開発参画
- ・営業支援システム「見積君」開発
- ・損調業務システム「調査業務支援システム」（RISA）開発
- ・あいおい損保全見積DB化システム開発
- ・あいおいアジャスター業務管理システム開発
- ・NGP全損データ転送システム開発
- ・アジャスター見積レベル採点システム開発

得意とするエリア

損害調査部門、特に調査活動や修理費分析、学校業務システム

担当エリア

損害保険システムと事務

大野 修 （おおの おさむ）

1970年 富士通株式会社に入社。2004年に定年退職。

在職中は、営業部門に在籍し、保険業界、特に損害保険会社に対しシステム営業を展開。

損害保険各社へ、システムの標準化・共通化をアプローチ。

- ・損害保険各社との損保代理店オンラインネットワークシステム構築
- ・損害保険各社との生保子会社システム共同開発

退職後、2016年2月まで、システムインテグレータで管理部門、営業部門を担当し、システム開発/受託業務を対応。

担当エリア

損害保険システムと事務

大島 道雄 （おおしま みちお）

1972大正海上火災（現三井住友海上火災）入社

システム部、人事部、火災新種業務部、広島支店一般営業、海外駐在(アメリカ)
福岡支店企業営業、販売企画部

1999上記退社

自動車保険料率算定会（現損害保険料率算出機構）大宮調査事務所入所、
大宮調査事務所、関越本部、内部監査室、企画推進部

2012退職

損害保険事業に関し本格的に研究を開始。

外国人留学生に日本の保険事業の講義（横浜国大 2018-23）

論文等

「我が国における後遺障害等級認定の諸問題の解決へのアプローチ」（賠償科学）

「自動運転と損害保険事業」（損害保険研究）

「損害保険自由化20年目の検証」（損害保険研究）

「自動運転車の普及がもたらす損保事業のパラダイムシフト」（週刊東洋経済）

「生損保相互参入とは何だったのか---相互参入とその時代」（損害保険研究）

「相互参入」明暗の分かれ目」（週刊東洋経済）

「損害保険ダイレクト事業に関する考察」（損害保険研究）

「保険の大衆化と現在 企業保険市場・個人保険市場の半世紀の変遷と
現在の動向」（損害保険研究）

他

担当エリア

自賠責全般

自動運転（CASEを含む）と損害保険

損害調査（特に後遺障害）

損害保険組織論